

第33号
平成24年8月3日
発行
「市民活動情報紙
なると」編集委員会

市民活動 情報紙なると

鳴門市ボランティア
連絡協議会
☎685-7170
鳴門市市民活動
支援センター
☎685-7170



撫養街道松旧道沿い道の北のヒマワリ



松西集会所の交流接待所

7月1日から29日までヒマワリ祭りが開催されました。鳴門市花街道・地域づくりネットワークの皆さんが大切に育てたヒマワリが、市内の各地域で見事に咲きました。松西集会所の交流接待所では、花苗・飲み物等のもてなしがあり、大勢の人が訪れて交流を深めていました。

NPO法人 ボランティア鳴門西の実践活動報告



NPO法人ボランティア鳴門西 理事長 佐野 文穂

ボランティア鳴門西は20年近く前から、任意団体として活動していたが、平成16年6月NPO法人として認証された。この間、主に環境ボランティアとして、鳴門西地区の道路、公園及び緑地等の除草・清掃、ウチノ海総合公園や緑地の花壇への花の植込み、資源ゴミの回収と不法投棄ゴミの回収、生活排水路の浄化や海岸線の清掃等の他に、居住する高齢者の生活支援として、安否確認や食事サービスを行っている。更に青少年の健全育成を目的として、郷土の文化・芸能の継承・指導・育成（左義長、阿波踊り、秋祭り等）や主に小学生の放課後の児童教室の運営支援や防犯パトロールの実施等、約80名の会員が手分けし多方面に亘って活動を行っている。

近年、鳴門市が立ち上げた「福永家住宅保存活用検討委員会」と「鳴門ウチノ海総合公園を育てる会」のメンバーにも指名され、微力ながら協力を行っている。

これらの活動を通じ、昨年には徳島県から「とくしま環境賞」を受賞することが出来た。

又、昨年から地域の高齢者の生活支援の一環として、鳴門ウチノ海総合公園の東隣で、「ふれあい広場」を毎週土曜日の午前中に開催し、朝取れの新鮮な野菜、地場の産物、水揚げされたばかりの鮮魚、一流ホテルのパン等の販売を始めています。ご近所のお年寄りを中心に、毎回好評を戴いております。

週1回半日だけのオープンですが、鳴門ウチノ海総合公園等近くに来られたときには、是非ご来店下さい。



地域で「子どもたちの居場所」づくりを

友愛クラブ「ともしび」
会長 太田 晴清

友愛クラブ「ともしび」は、1979年10月25日に活動を始めてから今年で33年目を迎えます。これまで、私たちは、高齢者福祉に関わるボランティア活動や障がい者福祉に関わるボランティア活動を主に進めてきました。現在は、児童福祉に関わるボランティア活動として、新たな地域課題に向けた取組みを始めております。

それは、「地域社会における子育て支援」という課題に向けての取組みです。私たちは、県下で初めて、「子どもたちのための居場所づくり」の活動を2008年6月28日からスタートさせました。

今日の少子化社会は、いろいろな問題を抱えています。子どもたちがとりわけ放課後において小学生や中学生が地域社会の中で共に遊び、学び合う姿が見えなくなっています。子どもたちにとって同年齢や異年齢の友達と過ごす機会を持つことは、子どもたちが大人に成長する過程において大変重要な意味を持っています。その営みを通して子どもたちは、他人に対する優しさや悔しさ、悲しさや我慢等様々な心の成長をもたらしてくれます。

私たち団塊世代と言われる人達が幼かった頃、地域に子どもたちがあふれ、学校が終われば、自然と近所の子どもたちが集まってきて、同年齢の子どもたちはもちろん、異年齢の子どもたちが遊びを通して成長できる環境があちらこちらにありました。そこには、子どもたちが地域社会の中で育まれる空間が確かにありました。

私たちは、そうした子どもたちにとっての「空間」としての「子どもたちのための居場所づくり」を進めるため、自宅を開放し、子どもたちが放課後自由に過ごせる居場所として「コミュニティハウスTSUDO I」を設置いたしました。設置してから4年が経過した今、当時小学生であった児童は、中学生となり高校生になっています。そして、今も子どもたちの居場所にやってきて小学生の児童の遊び相手となり話し相手となっています。

保護者の経済的負担をできる限り軽減し、子どもたちが自由に集える「空間」としての機能や目的が少しずつ理解され、利用されるようになって参りました。

このたび、地域の多くの方々のご協力を得て「同年齢及び異年齢児童交流遊びの広場」、「子育て井戸端会議の開催」、「子どもたちのための食育教室の開催」など3つの子どもの居場所づくり事業を進めております。



子どもたちのための食育教育の開催

EMダンゴ投入

【日 時】8月19日(日) 10:00~
【場 所】新池川 警察前の池
【内 容】EMダンゴ投入、コスモス種まき
カヌー体験、かき氷

【日 時】11月18日(日) 10:00~
【場 所】新池川 警察前の池
【内 容】EMダンゴ投入、焼き芋

EMダンゴづくり

【日 時】9月30日(日) 9:00~
【場 所】し尿処理施設(木津)
【内 容】EMダンゴづくり
※5個プレゼント

ボ
ラ
ン
テ
ィ
ア
募
集

菜の花種まき・新池川 清掃奉仕
【日 時】10月7日(日) 9:00~
【場 所】新池川 植栽イカダ
撫養橋~石越橋
【内 容】菜の花種まき、清掃

わがまち川東



川東地区自治振興会
会長 中谷 宏

川東地区自治振興会は、林崎、北浜、弁財天、岡崎、立岩の各連合町内会の連合組織として川東公民館に事務局を置き、毎月の定例役員会で協議を重ね、各事業の推進を図っております。

基本方針としましては、住民参加と対話を図り地域の特性を活かし、各町内会を軸として自治会活動を進めると共に「鳴門市自治基本条例」「鳴門市都市計画マスタープラン」「第6次鳴門市総合計画」の趣旨を踏まえ、市行政や各種団体とのより緊密な連携と協働を図り〈潤いのある安全で豊かなまちづくり〉を目指しております。

川東地区は、風光明媚の岡崎海岸、わんわん風発祥の蓮華寺、お城が聳える桜の名所妙見山、またアスリートや高校球児が競う大塚スポーツパーク、散歩やジョギングを楽しむ撫養川沿いの親水公園、趣き残す旧撫養街道の町並みや、塩田跡地のモダンでカラフルな新興住宅街そして（株）大塚製薬工場の数々の施設等、歴史と文化、自然美と住環境に恵まれた誇れる町であります。

反面、海と川に全ての町が接しており、地震や津波等の災害に対しては大変憂慮しております。



市道の除草や花植えをする皆さん

大災害が想定される、東海、東南海、南海地震や、台風、集中豪雨、竜巻等今日いつなんどき起きてもおかしくない災害に対し、昨年3月11日に発生した東日本大震災を教訓として、自主防災会活動のより一層の強化、住民の津波避難訓練等の実施、関係機関との連携強化、地域住民の防災意識の高揚、防災器具や非常食の充実、等の防災対策を推進しております。

また一方では、地域の美化運動として、市道運動公園線の除草や清掃、花植えを実施し、花いっぱい運動やコスモスまつりへの参加も川東公民館まつりと併せて実施しています。省エネの観点から夕方の町内一斉水撒きや、エコ対策としてのゴーヤ等による緑のカーテンづくり、EMの活用による地域河川の浄化活動も実施しております。

今後も、川東地区住民に安全と安心を実感していただける、まちづくりを推進して参ります。

子育て支援活動の表彰

地域において子育て環境づくりに取り組む、団体や個人を表彰

◇募集対象

より良い子育て環境づくりに資する活動を行い、成果を上げている個人・団体

◇表彰

未来大賞 表彰状・副賞100万円
未来賞 表彰状・副賞50万円

◇締切日 平成24年9月14日（必着）

◇問合せ先

「未来を強くする子育てプロジェクト」
事務局T係
☎03-3265-2283

第16回地球倫理推進賞

◇応募部門

①国際活動部門 ②国内活動部門

◇応募資格

当該の活動が営利を目的とせず、5年以上継続して、教育・文化・医療・環境・人道支援・地域開発などの分野において、地球倫理の推進に貢献している団体

◇表彰 各部門 賞状・副賞100万円
併せて文部科学大臣賞授与

◇締切日 平成24年9月28日

◇問合せ先（社）倫理研究所

「地球倫理推進賞」事務局
☎03-3264-2251

募
集



「JCI在宅就業支援センター」をICT基盤とした、
新しいワーキングスタイルの創出
～ テレワークは、人を育て、地域を育て、未来を創る ～

NPO法人 ジェイシーアイ・テレワーカーズ・ネットワーク

私たちは、平成11年4月に創設以来、13年間、心身の障害、難病、高齢などのために、社会生活・職業生活の中で弱者の立場を強いられている人たち（チャレンジド）とともに、ICT（情報通信技術）とインターネット環境を利活用した、テレワークの事業創出を推進してきました。

平成22年度に、総務省が行った「地域雇用創造ICT絆プロジェクト」に応募した「プライベート・クラウド活用によるテレワークビジネス推進事業」が採択され、22年度末に、

- ・在宅でのICT教育を提供する「e-ラーニングシステム」
- ・クラウドコンピュータ利用のための「シンクライアントシステム」
- ・テレワークの統括的管理を実現する「在宅業務管理システム」

を実装した「JCI在宅就業支援センター」を構築しました。

この仕組みを、県内のテレワーカーや社会貢献団体が共有するシステムとして活用していただきたいとの強い思いから、「平成24年度徳島県新しい公共の場づくりのためのモデル事業」に応募し、「JCI在宅就業支援センターをICT基盤としたテレワークによる地域雇用の創出」事業が採択されました。



現在、徳島県と協働で、「在宅就業支援センター」を、県内外のテレワーカーたちの誰もが利用できる「ICT基盤」として

活用し、安全なインターネット環境で、信頼性の高いテレワークを実現することで、地域・他府県からの新しい需要と雇用を創出する事業を、全県的に推進しています。

「テレワーカー育成講習会」を東・中部、南部、西部を巡回して実施しています。

10月14日には、「テレワークは、人を育て、地域を育て、未来を創る」を掲げたフォーラムを開催します。

事業の成果目標達成に向けて、皆様の力強いご協力と温かいご支援を、心からお願いいたします。

法人紹介

事務所を徳島市から鳴門市へ移転しました。
よろしくお願ひします。

ジョブOBネットワーク

- 【事務所】鳴門市大津町吉永265番地14
 【理事長】仁尾 國雄
 【分野】職業能力の開発・雇用機会の拡充を支援
 【事業】①中高年齢退職者と企業とのマッチング事業 ②中高年齢退職者の経験、スキル、ノウハウを活用した業務請負事業

鳴門市市民活動支援センター

鳴門市撫養町南浜字東浜30-9
老人福祉センター1階

開館日 月～金曜日 13:00～18:00
休館日 土・日・祝祭日・年末年始

TEL 088-685-7170
(鳴門市社会福祉協議会内)

FAX 088-686-4059

naruto.npo.shien@gmail.com

一口メモ

代表権喪失の登記、任期満了で重任（再任）の理事（理事長）の役員変更登記、資産の変更登記（財産目録）を忘れずにしてください。